

# 1年 社会 シラバス

## 1 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

## 2 教科における重点目標等

(1) 社会を自ら考えようとする態度を養う。

調べ学習や課題解決学習などを通して社会の諸問題に着目し、自ら考える態度を養います。

(2) 他者と協働して社会的な見方・考え方を養う。

話し合い活動や討論の中で、社会的な事情を様々な角度から考察し公正に判断するとともに、課題に対して根拠を持って発言できる場面を設定し適切に表現できる力を養います。

(3) 社会についての理解を深める。

授業を通して、地理・歴史・現代社会についての知識を広げ、理解を深めます。

## 3 学力を向上させる方法

(1) 日常の「なぜ？」を感じよう

日々の生活の中で、「なぜこうなったのだろう？」と感じることを大切にしてください。様々な事象に対し疑問に思う姿勢が、より良い学習につながります。

(2) メモをとろう

感じた「なぜ？」をメモしておきましょう。また、先生の話や他の人の意見をメモすることも良いですね。様々な見方から社会を見つめましょう。

(3) 言葉の意味を知ろう

社会科は用語が多いです。ひとつひとつの言葉の意味をしっかりと押さえましょう。目に見えないものを表す言葉を自分で説明できるかどうかポイントです。

(4) 新聞・ニュースに触れよう

世の中の最新情報に目を向ける姿勢をもちましょう。社会への関心を高めて授業に臨むと、より理解が深まります。生活に役立つ情報がニュースの中で出てくるかもしれません。

## 4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	社会的な事象に関して、理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。	・授業中の発言・ノートの記述内容 ・資料分析の内容 ・提出物 ・定期テスト
思考・判断・表現	社会的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・授業中の発言 ・ノートの記述内容 ・提出物 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	社会的な事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	・授業中の発言 ・ノートの記述内容 ・定期テスト ・課題への取組

## 5 家庭学習の仕方

社会科では、残念ながら「覚えること」を避けては通る訳にはいきません。丸暗記するのではなく、出来事や人物の行ったこと等がどのような背景でどのような影響を与えたのかを理解することが大切です。そのヒントは授業での先生の話の中にあります。授業で学んだことを、自分の言葉で説明できるとよいですね。また、本やテレビ、新聞に触れるのも大切です。様々な情報源から情報を集めることも、より深く学ぶことにつながることでしょう。

## 6 年間学習予定（週3時間 年間105時間）★地理的分野と歴史的分野

	単元名	学習のポイント
1 学 期	<p><b>地</b>世界の姿 世界の姿</p> <p><b>地</b>日本の姿 日本の姿</p> <p><b>地</b>世界各地の人々の生活と環境 世界各地の人々の生活と環境</p> <p><b>歴</b>古代までの日本 1 世界の文明と宗教のおこり 2 日本列島の誕生と大陸との交流</p>	<p>&lt;地図・世界の地域構成&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀、地図、経緯度など、地理を学ぶ上での基本的な事項を理解する。</li> <li>世界の地域構成を理解し、地図を活用しながら主な国々に触れる。</li> </ul> <p>&lt;地図・日本の地域構成&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の領域の特色や領土問題の現状について理解する。</li> <li>都道府県や県庁所在地の名称や位置を地図から読み取る。</li> </ul> <p>&lt;世界の気候帯・文化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の気候の特徴を理解し、人々の生活との関連を調べる。</li> <li>世界に存在する特徴ある文化を理解し、人々の生活との関連を調べる。</li> </ul> <p>&lt;世界地誌&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済成長と多様性という視点からアジア州について理解する。</li> <li>ヨーロッパ連合の形成という視点からヨーロッパ州について理解する。</li> </ul> <p>&lt;原始・古代（旧石器時代～平安時代）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人類の文明のおこりから大和政権の形成に至る過程について理解する。</li> </ul>
2 学 期	<p>3 古代国家の歩みと東アジアの世界</p> <p><b>地</b>世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州</p> <p><b>地</b>地域調査の手法 地域調査の手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代国家の形成が東アジア世界との関わりの中で進んだことを理解する。</li> </ul> <p>&lt;世界地誌&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済成長と多様性という視点からアジア州について理解する。</li> <li>ヨーロッパ連合の形成という視点からヨーロッパ州について理解する。</li> <li>モノカルチャー経済という視点からアフリカ州について理解する。</li> <li>特色ある農業や工業という視点から北アメリカ州について理解する。</li> <li>開発と自然環境という視点から南アメリカ州について理解する。</li> <li>他の地域との結びつきという視点からオセアニア州について理解する。</li> </ul> <p>&lt;地域調査の手法①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の地域を調べるための手法を知り。テーマを決めて調べ、発表する。</li> <li>地図記号、等高線、縮尺を理解し、地形図を活用するための技能を身につける。</li> </ul>
3 学 期	<p><b>歴</b>中世の日本 1 武士の政権と成立 2 ユーラシアの動きと武士の政治の展開</p>	<p>&lt;中世（鎌倉時代～室町時代）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>武士が政権をとったことによる社会や文化の変化について理解する。</li> <li>室町幕府の政治や社会の変容、東アジア世界との関係を理解する。</li> </ul> <p><u>※歴史的分野の学習は2年生も続きます。教科書も引き続き使用します。</u></p> <p><u>※地理的分野の学習は2年生も続きます。教科書も引き続き使用します。</u></p>